

授業科目区分	科目名 [英文名]	単位	N	S	M
共通専門科目	スポーツ指導論 [Coaching Method]	2			
授業形態	担当教員名		ナンバリング		
講義	川井 明		NSM-S2026		
この授業に関係する資格					
公認スポーツ栄養士、スポーツ指導者等共通科目、アシスタントマネジャー、アスレティックトレーナー、初級パラスポーツ指導員、スポーツインストラクター					
学位授与方針（ディプロマポリシー）との関連					
○	豊かな人間性（広い視野、深い思考力）	○	健康づくりの実践的指導能力		
	食、栄養科学の専門的知識	○	健康生活の知識と技術の修得		
○	健康管理の指導技術の修得	○	実社会に役立つ能力		
○	運動、スポーツ科学の専門的知識	○	社会に貢献できる実践力		
キーワード					
コミュニケーション・リーダーシップ・フォロワーシップ・プレゼンテーション・ファシリテーション・パラスポーツ・ボランティア精神					
授業の目的と概要					
前半は、競技上の成功者の例から、その要素・要因を探り、毎時間、理解度確認レポート。後半は、指導現場に有効なロジカルコミュニケーションの基礎を学習して実際のディベートに備える。さらに、指導現場でのタイムリーなトピックスを随時取り上げてその背景とともに理解していく。					
学習の到達目標					
成功したアスリートに関する指導法を理解したうえで、過去に受けた指導との比較から現状や個人に適した指導法を探ることができる。指導者としてのロジカルコミュニケーションを理解したうえで、有効・的確・シンプルな伝え方を習得することでユニバーサルな視点で指導することができる。指導現場でのトピックスの背景を理解し現代社会に即した指導をすることができる。					
回	テーマ	授業内容	AL		
1	ガイダンス他 コーチングとは	コーチングとは、コーチの定義、コーチングの目的、プレーヤーセンタードなコーチング			
2	コーチに求められる役割	コーチの果たすべき役割、安全なスポーツ環境の構築（予防）	○		
3	コーチに求められる知識とスキル	コーチング文脈、専門的知識、対他者の知識、対自己の知識	○		
4	対他者力を磨こう	コミュニケーション、リーダーシップ、プレゼンテーション、ファシリテーション	○		
5	対自己力を磨こう	コーチの学び、コーチのセルフマネジメント、さまざまな思考法や伝達	○		
6	暴力・ハラスメントの根絶	暴力や暴言、ハラスメントの根絶のために	○		
7	スポーツのインテグリティ	スポーツにおけるインテグリティの確保	○		
8	スポーツの倫理	スポーツマンシップ、フェアプレーの精神、スポーツの価値	○		
9	時代をリードするコーチング	ジェンダー、性的マイノリティ、女性コーチの活躍と女性の社会進出	○		
10	アンチ・ドーピング	アンチ・ドーピングの歴史、国内外のアンチ・ドーピング機構について	○		
11	コーチング環境の特徴	ジュニア期のコーチングと留意点、性別や年齢区分から見たコーチングの留意点	○		
12	ハイパフォーマンススポーツ①	ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング	○		
13	ハイパフォーマンススポーツ②	国内外のタレント（メダルポテンシャルアスリート）の発掘、選抜、育成	○		
14	パラスポーツ	パラスポーツの現状と課題、パラスポーツ指導者の育成	○		
15	まとめ	良い指導者の資質と役割等についてグループディスカッションから本科目をまとめる	○		
教科書及び参考図書					
参考図書：日本スポーツ協会 Reference Book（公益財団法人日本スポーツ協会）					
準備学習・事後学習					
準備学習（週 2 時間）：体育・スポーツに関する情報を、新聞やニュース・雑誌・インターネットや書籍等を通して収集すること。 事後学習（週 2 時間）：授業中の内容を復習すること。					
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法					
理解度確認レポートの回収後、フィードバックを行う。					
成績評価の方法・基準					
理解度確認レポート 70% グループ活動の際のファシリテーションやリーダーシップ、フォロワーシップ等 20% 筆記試験 10%					
関連科目					
体育原理					
受講上の注意					
体育・スポーツに関する情報を、書籍や新聞・雑誌・インターネット等で自主的に学ぶ姿勢が求められる。また、それらの諸問題について自らの考えを文章化することや、グループやクラス全体に発信し共有できることが望ましい。					